

妊娠と薬外来のご案内

高知大学医学部附属病院 産科婦人科

「妊娠しているとわからずに薬を飲んでしまった。妊婦を継続しても大丈夫？」
「持病があつて薬を飲んでいるけれど、このまま妊娠して赤ちゃんに影響はないの？」

そんな、妊娠と薬に関する疑問や不安、悩みの相談のできる外来*です。

妊娠中の方や、これから妊娠を希望される方へ、
今使っている薬剤が妊娠に与える影響について、

専門の医師、薬剤師が、国内外のデータや資料を基に最新の情報を提供します。

*厚生労働省の事業として、2005年に国立成育医療研究センター(東京都)に「妊娠と薬情報センター」が設置されました。

その後、相談窓口は全国に広がり、高知大学医学部附属病院も「妊娠と薬情報センター」の拠点病院として、2017年4月1日から相談窓口を開設しました。



相談日と費用
(完全予約制)

毎週火曜日の 15:00～16:00

1回 45分まで 8,250円
以降 15分ごと 2,750円



相談までの流れ

「妊娠と薬情報センター」の
Web 問診票システムから申し込む。

Web 問診システム
<https://n-kusuri.ncchd.go.jp/ncchd/login>

「妊娠と薬情報センター」からメールが届く。

届いたメールの内容を確認し、
高知大学医学部附属病院の
「妊娠と薬外来」を予約する。

高知大学医学部附属病院
予約センター ☎ 088-880-2445

相談日当日は、1階受付②番窓口へ。

